

(3)

2019年(令和元年)9月26日 木曜日

昭和47年に「茶道裏千家淡交会」に入門し、今年で47年になります。この間のことを振り返りますと、JR九州箱崎駅在職の時、本社から民営化1周年記念行事を催すよう指示があり、駅前広場で制服・制帽でお手前、お客さまに「おもてなし」している写真が地元新聞に掲載されたことを思い出しました。

JR九州退職後にはJTBにお世話になり、平成19年には茶道者会などでその愛らしさを紹介しています。

竹ひごの上で、微妙なバランスをとりながら止まっている。胴体を支点として、頭を上げる下げるなど、ゆらぐ姿に魅せられました。

自分なりの改良を加えて、「ゆらり竹どんぼ」と命名し、地元敬老会などでイベント時にその愛らしさを紹介しています。

地域と共生

日本鉄道OB会

⑫ バランストンボ

今から14～15年前でしょうか。「バランストンボ作成の講習会」の新聞記事に目が止まつたのがきっかけでした。

手づくりのトンボが竹ひごの上で、微妙なバランスをとりながら止まっている。胴体を支点として、頭を上げる下げるなど、ゆらぐ姿に魅せられました。

自分なりの改良を加えて、「ゆらり竹どんぼ」と命名し、地元敬老会などでイベント時にその愛らしさを紹介しています。



子どもたちに工作の魅力を伝える
長井さん（左）

雪国・新潟では、とりわけ冬になると、外で遊ぶことが少なくなります。そのような時には地元NPO法人などが主催するイベントに足を運び、「ゆらり

竹どんぼ」の紙パージョン、木製パズルを持参して子どもたちと遊びます。指先に止まつた「ゆらり竹どんぼ」に子どもたちも驚きの表情を隠せません。

竹どんぼの素材は、竹、紙、木、わら、スキなど。費用はかけずに手間暇かけてススキを使用し

た昆虫づくりにも興味があります。ノコギリ、小刀を使つて何かを作っている時が一番楽しい。後継者を探している後期高齢者です。（東日本鉄道OB会新潟地方本部新津支部・長井登、75）

(3)

2019年(令和元年)9月25日 水曜日

昭和47年に「茶道裏千家淡交会筑豊支部直方和みの会」を結成。「直方文化連盟」にも加入、同連盟の主催行事では、表千家と交代で返りますと、JR九州箱崎駅在職の時、本社から民営化1周年記念行事を催すよう指示があり、駅前広場で制服・制帽でお手前、お客さまに「おもてなし」

して、JR九州退職後にはJTBにお世話になりました。生

茶会を開催しました。福岡県直方市は高取焼発祥の地であり、「古高取を伝える会」が毎年、市内の小学6年生を対象に茶碗作りを指導しています。生

茶会を開催しました。高取焼大茶会が毎年4月に開かれます。今年は14団体が参加し、800人を超す人たちでにぎわいました。街の活性化も兼ねて「ちくぜんのおがた高取焼大茶会」が毎年4月に開かれます。今年は14団体が参加し、800人を超す人たちでにぎわいました。

9月に傘寿を迎えた9月に傘寿を迎えた。これからも茶道の精神「和敬清寂」を心に、一期一会を大切に精進し、おもてなし久保修一、80

茶道の精神について語りかける久保さん（左）

地域と共生

日本鉄道OB会



茶道の精神について語りかける久保さん（左）